

令和4年10月31日

東京学芸大学教育学部
人文社会科学系長
木村 守 (公印省略)

テニュアトラック教員の公募について

1. 職名及び人数 准教授 1名
2. 所属組織 研究組織：人文社会科学系 日本語・日本文学研究講座
日本語教育学分野

教育組織：国語科教室
3. 専門領域 日本語教育学
4. 職務内容
 - (1) 学部生並びに大学院生（教職大学院）の教育・研究指導。
主な担当科目：入門セミナー、教職実践演習、
日本語教育概論、日本語教育の方法、子どもの日本語教育、
言語学概論、第二言語習得論、
異文化理解と心理、日本語教育の歴史と言語政策、
日本語教育の内容構成と実践、教職専門実習、課題研究 等。
教育活動の一環として実施する学生の地域支援活動のコーディネートも含む。
 - (2) 日本語教育学、教師教育学に関する研究。
 - (3) 現職教員研修。
 - (4) 大学運営に関する業務。
5. 応募資格
 - (1) 博士の学位又はそれと同等の研究業績を有すること。
 - (2) 授業及び職務遂行に支障のない日本語能力を有すること。
 - (3) 本学が教員養成系大学であることを理解し、関連業務に積極的に従事できること。
 - (4) 担当科目について、教職課程認定上必要とされる教育又は研究上の業績を有していること。
 - (5) 小学校・中学校・高等学校等の教員免許を有することが望ましい。
 - (6) 小学校・中学校・高等学校等の教育現場、または日本語教育の教育現場において、指導経験や研修経験を有することが望ましい。
6. 採用予定日 令和5年10月1日
7. テニュアトラック期間 5年（令和10年9月30日まで）

※ただし、テニユアの付与に係る審査の結果、テニユアトラック期間を延長することが認められた場合は、3年を限度として延長することができる。

8. 給与等 東京学芸大学新年俸制による年俸給与（令和5年4月1日から適用予定）

9. 提出書類

- (1) 履歴書1通（写真貼付, 連絡先の電話番号及びe-mail アドレスを必ず明記）
- (2) 研究業績一覧（①著書, ②論文, ③教育実践記録等, ④その他に分けて記入。査読の有無を明記のこと）
- (3) 主な研究業績5点（コピー可）
- (4) 担当授業科目に関する研究業績等一覧（別紙様式）
- (5) 教育業績一覧
- (6) 社会貢献・学会活動実績一覧
- (7) 研究活動の概要と今後の研究及び教育に対する抱負（2000字程度）
- (8) 担当予定の次の3科目のシラバス案
「言語学概論」「日本語教育概論」「子どもの日本語教育」

10. 提出期限 令和5年1月16日（月）

11. 選考方法

- (1) 東京学芸大学教員選考規程に基づいて行う。
- (2) 本学の教員の選考においては、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神を尊重し、業績等の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用する。
- (3) 本学は国籍、障がい等による差別を排除し、公平な選考を行う。
- (4) 必要に応じて面接（模擬授業等を含む）を行う。
- (5) 選考結果については、選考が終了次第本人宛に通知する。
- (6) 提出書類は原則として返却しない。
- (7) 応募に関わる費用（面接等の旅費を含む）は応募者の負担とする。
- (8) 海外在住等により、書類等の提出が難しい場合には、「14. 問い合わせ先」へ問い合わせること。

12. 書類送付先

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
東京学芸大学 人文社会科学系 学系長 木村守
封筒の表に「日本語・日本文学研究講座教員応募書類（日本語教育学分野）」と朱書きする。

13. テニユア審査

テニユア教員（任期を付さない雇用）への採用は、テニユアトラック期間終了年度にテニユア審査を実施します。
なお、中間評価を3年目に実施し、中間評価において特に優れた業績をあげたテニユア

トラック教員は、任期途中でもテニユア教員に採用されることがあります。

1 4. 問い合わせ先

東京学芸大学 日本語・日本文学研究講座主任 湯浅佳子

メールアドレス：yuasa@u-gakugei.ac.jp

件名には必ず「テニユアトラック教員公募（日本語教育学分野）について」と記入する

こ

と。

なお、「8. 給与等」に関する問い合わせ先：東京学芸大学総務部人事課人事係

メールアドレス：jinjika@u-gakugei.ac.jp

1 5. その他

提出いただいた個人情報 は当公募の選考にのみ利用します。

書類の返却を希望する場合は、返信先を明記し、必要分の切手を貼付した返信用の封筒を同封すること。

以上